

トルコ為替週報

2023年6月27日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(6月20日～6月26日)

USD/TRY: 23.4482～26.0480

TRY/JPY: 5.49～6.05 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドル、対円で大幅に続落。焦点となっていたトルコ中央銀行(TCMB)の6月22日の会合では、政策金利が8.50%から15.00%へと大幅に引き上げられたものの、20%以上への政策金利の引き上げを見込んでいた市場予想には届かず、市場はリラ売りで反応する結果となった。また、TCMBは6月25日に市場メカニズムの機能性を高め、マクロ安定の安定を強化するため、国内の証券維持規制を簡素化したと発表しているが、この発表後にもリラの下落が拡大している。

まず、TCMBの6月会合についての評価だが、6.50%ポイントの利上げ幅はたしかに市場予想には届かなかったものの、TCMBははっきりと利上げ継続の姿勢を示しており、それ自体が市場の失望売りの主因ではないだろう。しかし、どこまで金利を引き上げるのかについてのTCMBのコミットメントが弱かったことは否めない。筆者は、今回の会合で、「トルコ中銀がインフレ調整後の実質政策金利がプラスに転換するまで利上げを継続する」コミットメントが示されると見ていた。しかし、実際の声明文では「インフレ見通しの大幅な改善を達成するまで」金融引き締めを行うと表明されており、どういった状況になれば利上げを停止するのか、玉虫色に解釈できる表現となっている。トルコ中銀のタカ派スタンスは思ったほどはっきりとは示されなかった、という印象である。

国内の証券維持規制の簡素化について、まず前提知識として、TCMBは預金の「ドル化」を抑制し、長期金利を低位安定させるため、銀行に対して証券を保有することを求めるほか、リラ預金が預金総額の60%を下回る(つまり外貨預金の割合が高い)銀行に対しては、追加で有価証券を保有することを求めている。今回の発表は、証券維持率を全体的に引き下げるとともに、より高水準の証券維持率が求められるリラ預金の比率を従来の60%から57%に引き下げる。TCMBは簡素化は段階的に進めると説明している。この緩和措置は銀行の資本自由度を高め、長期的にはトルコ経済の健全な発展に寄与すると考えられるが、市場ではまずは規制の緩和に伴うリラ売りのリスクが高まったと捉えられた模様だ。TCMBは銀行に対し、貸出金利の引き上げも容認しており(右図参照)、金融市場及び信用環境の歪みは徐々に是正されつつある。

この他、重要な動きとして、トルコ中銀の6月会合の前の6月20日には、今年2回目となる最低賃金の引き上げが発表された。月額8,507リラから月額11,402リラへと34%引き上げられる。2023年1月に引き上げられる前の最低賃金は月額5,500リラであり、年間の伸び率は実に107%に達する。トルコのインフレ率は現在39.6%とピーク時の85.5%からは低下しており、実質ベースでも前年比70%近い賃金の上昇率となる。労働者の約4割が最低賃金の適用を受けることを考慮すれば、インフレ押し上げのインパクトは大きそうだ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/16	08:00	インフレ期待(12か月後)	6月		30.65%	29.84%
6/22	12:00	政策金利発表		20%	15%	8.5%
6/23	08:00	貿易収支(USD)	5月	-12.70b	-12.53b	-8.77b
	09:00	外国人観光客(前年比)	5月		16.2%	29%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(6月27日～7月3日)

USD/TRY: 22.00～27.00

TRY/JPY: 5.30～6.30

来週1週間はバイラム休暇(27日～30日)で金曜日までトルコ市場は休みとなる。バイラム休暇後は、引き続き、TCMBによる改革(これまでの非伝統的な金融政策運営の巻き戻し)が焦点となる。これまでのところ、市場の反応は厳しいものの、徐々に前向きな見方も広まるのではないかと見ている。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

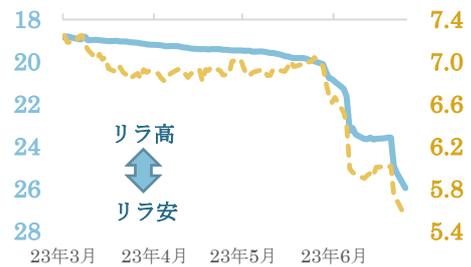
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
7/3	08:00	製造業PMI	6月			51.5

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

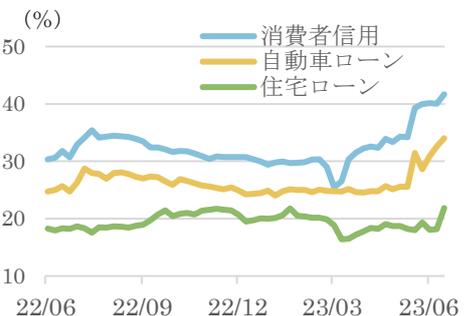
トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



家計向け貸出金利



最低賃金の推移

棒グラフ: 最低賃金(左軸)

折れ線: 前年比伸び率(右軸)



(資料: ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

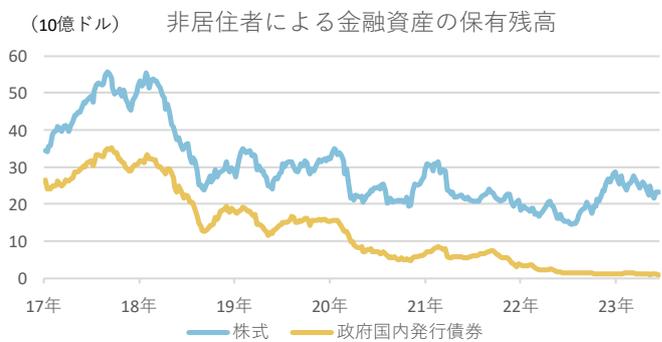
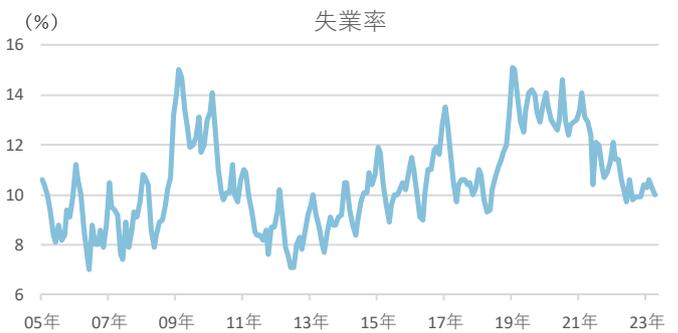
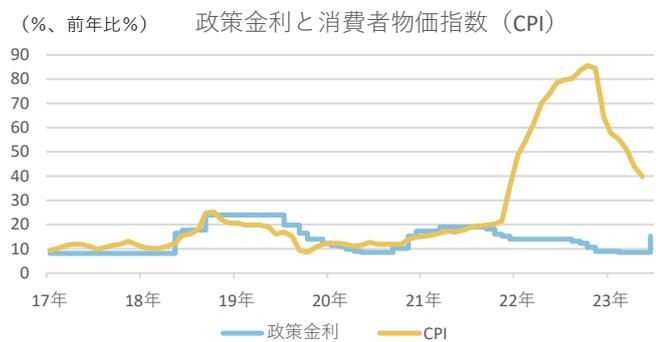
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

トルコ為替週報

2023年6月27日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。